

農機具取扱店へJA農業資金を紹介

～JA農業資金説明会～

当JAは12月11日、JAつがる弘前と合同で「JA農業資金説明会」を平川市の東京会館で開き、両JA管内の農機具取扱店の担当者ら約20人が参加した。

説明会では、アグリマイティ資金、農業近代化資金、スーパーL資金などのJAで取り扱える農業資金を説明。また、他社からの農業資金借換えの事例を紹介した。

終了後は、JAと農機具取扱店間の情報交換を行い、今後の取引円滑化と、農機具店からお客様にJA農業資金を勧めていただく体制を作った。



農機具取扱店に説明する担当者

わい化栽培技術競技会

～りんごわい化栽培技術競技会第一席受賞祝賀会～

板柳町りんごわい化栽培技術研究会（田中和人会長）は12月26日、（公財）青森県りんご協会主催のりんご技術競技会わい化栽培技術団体の部で6年連続の第1席受賞を祝い、同町の多目的ホール「あぷる」で祝賀会を開いた。

団体の部は中畑陽介さん、葛西伸さん、田中和人さん、桜庭郁夫さん、成田琢磨さんの5人が出場。個人の部では、葛西伸さんが最優秀技術賞に輝き「今後も更に技術を研鑽していきたい」と抱負を述べた。



受賞した板柳町りんごわい化栽培技術研究会

工藤憲男さんが農事功績表彰

～青天の霹靂「特A米」の取得貢献など評価～

尾上基幹支店管内の工藤憲男さんが平成30年度の大日本農会農事功績表彰^{注1}の緑白綬有功章^{注2}を受章した。工藤さんは12月21日、本店を訪れ、受章を報告した。受章理由として、工藤さんは米に適した土づくりを基本とし、良食味の米生産を実現し、県産米「青天の霹靂（へきれき）」の食味ランキングで特A米評価取得へ貢献したことなどが挙げられた。

工藤さんは「適正な土づくりが大事。勉強し、もつとよい米を作っていきたい」と話した。

注1) 大日本農会農事功績表彰は、社団法人大日本農会が農事改良の奨励などで顕著であった人を総裁（秋篠宮文仁親王殿下）名でたたえる。今年度で第102回。

注2) 緑白綬有功章は、農業改良の実行に功績顕著であり、地域農業の発展に貢献した農業者が対象。



大日本農会農事功績表彰を受章した工藤さん（中央）